

## 経営発達支援計画の概要

実施者名	平群町商工会（法人番号 2150005003320）・三郷町商工会（法人番号 4150005003319） 斑鳩町商工会（法人番号 1150005003321）・安堵町商工会（法人番号 9150005003322）																
実施期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日																
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来からの4商工会の広域連携である「生駒郡商工会広域協議会」の枠組みを活かした、広域的な支援体制を構築し、小規模事業者が今後の持続的経営発展に向けた事業を展開していける様、事業者に寄り添った伴走型の支援を行うことを目標とする。</li> <li>・商工会が中心として町行政、各種観光関係団体、地域小規模事業者が連携し、地域ブランドの確立や観光資源の活用を行い、地域全体が一体となった観光振興を中心とした地域経済の活性化を目標とする。</li> </ul>																
事業内容	<p><b>I 経営発達支援事業の内容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域の経済動向調査に関すること 各地域の経済動向を業種別にて調査・分析し、4商工会合同での分析を行うことで生駒郡全体の動向を把握し、事業者や各町行政に情報提供を行う。</li> <li>2. 経営状況の分析に関すること 事業所に対しての定期的な巡回訪問や各種セミナー参加者へのフォローを通じて、各事業所の経営状況を的確に把握し、より効率的に支援事業者の選定を行い、事業者の経営課題についての分析を行う。</li> <li>3. 事業計画策定支援に関すること 経営状況の分析を行った事業所及び各種セミナーの受講者の中から事業計画策定に意欲的な事業所に対して、各関係機関と連携した伴走型の支援・指導を行う。</li> <li>4. 事業計画策定後の実施支援に関すること 事業計画策定支援を行った事業所に対して、定期的な巡回訪問を実施し、計画実行の進捗状況の確認・計画の見直し検討について、助言・指導を行う。</li> <li>5. 需要動向調査に関すること 観光産業に重点を置き、公的統計資料等の分析や各観光地における観光客動向調査、地元一般消費者に対する消費動向調査の実施・分析を行い、事業所に広く情報提供を行うことで、各種支援の基礎資料とする。</li> <li>6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること 自社HPの作成による情報発信支援及び各事業所に応じた商談会、展示会、物産展等への参加の斡旋や参加前・参加後のフォローアップ支援を行う。</li> </ol> <p><b>II 地域経済の活性化に資する取組</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生駒郡ニューツーリズム創出による観光ビジネス強化事業を実施し、各種団体と連携した観光産業における人材育成、観光ルート開発、WEBやガイドブック作成を通じた観光客誘致事業を行う。</li> <li>(2) 各4地域の特色を生かした特産品開発を通じた地域ブランド確立を行い、上記(1)と連動させ、新たな観光ビジネスの創出を行う。</li> </ol>																
連絡先	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">平群町商工会</td> <td style="width: 25%;">〒636-0936</td> <td style="width: 25%;">生駒郡平群町福貴 1037-2</td> <td style="width: 25%;">TEL 0745-45-1300</td> </tr> <tr> <td>三郷町商工会</td> <td>〒636-0812</td> <td>生駒郡三郷町勢野西 1-2-2</td> <td>TEL 0745-72-7462</td> </tr> <tr> <td>斑鳩町商工会</td> <td>〒636-0153</td> <td>生駒郡斑鳩町龍田南 1-3-49</td> <td>TEL 0745-74-2500</td> </tr> <tr> <td>安堵町商工会</td> <td>〒639-1061</td> <td>生駒郡安堵町東安堵 958</td> <td>TEL 0743-57-1524</td> </tr> </table>	平群町商工会	〒636-0936	生駒郡平群町福貴 1037-2	TEL 0745-45-1300	三郷町商工会	〒636-0812	生駒郡三郷町勢野西 1-2-2	TEL 0745-72-7462	斑鳩町商工会	〒636-0153	生駒郡斑鳩町龍田南 1-3-49	TEL 0745-74-2500	安堵町商工会	〒639-1061	生駒郡安堵町東安堵 958	TEL 0743-57-1524
平群町商工会	〒636-0936	生駒郡平群町福貴 1037-2	TEL 0745-45-1300														
三郷町商工会	〒636-0812	生駒郡三郷町勢野西 1-2-2	TEL 0745-72-7462														
斑鳩町商工会	〒636-0153	生駒郡斑鳩町龍田南 1-3-49	TEL 0745-74-2500														
安堵町商工会	〒639-1061	生駒郡安堵町東安堵 958	TEL 0743-57-1524														

(別表1)

経営発達支援計画

経営発達支援事業の目標

平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町は互いに隣接していることから商圈も等しく、歴史・文化的にも非常につながりが深い。また、4商工会においても、以前より生駒郡商工会広域協議会(別表2)を組織し、広域的な視点において小規模事業者の支援を行ってきた実績があることを踏まえ、今後、更なる生駒郡内の小規模事業者の持続的経営発展を目指し、4町共同での経営発達支援事業の実施を行う。

(1) 地域の概況

1. 概況

生駒郡は、奈良県の平群町(平成27年8月1日現在18,772人・23.90km<sup>2</sup>以下同じ)、三郷町(23,500人・8.80km<sup>2</sup>)、斑鳩町(27,374人・14.27km<sup>2</sup>)、安堵町(7,563人・4.33km<sup>2</sup>)の4町で構成される。奈良県の北西部に位置しており、北に生駒市、東に大和郡山市が接しており、西には生駒山地を隔てて大阪府と隣接し、南には大和川が流れている。

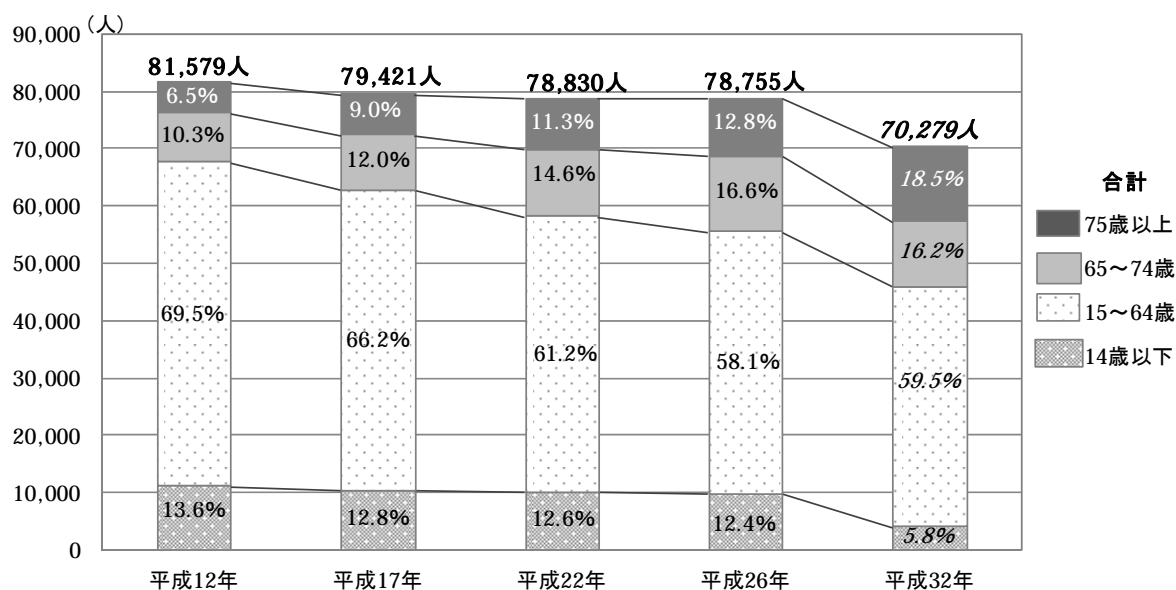
郡内には、JRの大和路線(関西本線)や近鉄生駒線、国道25号・168号が通っており、大阪との交通利便性が高くなっている。また、生駒山地や丘陵部の四季折々の自然や信貴山、世界遺産の法隆寺などを訪れる観光客・行楽客も多い。

主な特産品では、米づくりをはじめ、小菊や、いちご(古都華)やぶどう(デラウェア)、梨などの農産品がある。そのほか、平群町の日本酒「平群」、三郷町の「履物」、斑鳩町の「中宮寺門前そば」、安堵町の「古代大和米」「灯芯」などが挙げられる。

2. 人口の動向

生駒郡4町は、全国と同様、少子高齢化、人口減少が進行しており、将来推計では平成32年(2020年)には70,279人となり、3人に1人が65歳以上の高齢者(34.7%)になると予測されている。

<生駒郡 年齢4区分別 人口推移・推計>



資料：平成12・17年・22年 国勢調査、26年 住民基本台帳人口、32年 わが国の将来推計人口（国立社会保障人口・問題研究所 平成25年4月推計）

### 3. 各町のまちづくりの方向性

生駒郡の各4町行政はまちづくりの方向性として以下の通りとし、4町共通した取組として、豊富な観光資源、自然資源を活用した観光振興の発展に取り組んでいる。

町名	まちづくりの理念・基本方針
平群町	1.平群谷の豊かな緑に包まれて暮らすまち平群 2.地域資源が産業の活性と未来の希望をつなぐまち平群 3.子どもの歓声がきこえ、住み続けたいと実感できるまち平群 4.人と人とがつながる心豊かなまち平群
三郷町	1.豊かな自然と歴史を大切に継承します 2.安全・安心・うるおいのある暮らしをはぐくみます 3.学びの姿勢と心豊かなふれあいをひろげます 4.自助・共助・公助の協働を築きます
斑鳩町	1.文化の香り高く心豊かなまちづくり ～人づくりと文化の振興～ 2.すこやかに生き生きらせるまちづくり ～保健・福祉・医療の充実～ 3.潤いのある魅力的なまちづくり ～都市環境の整備～ 4.安全で快適なまちづくり ～生活環境の整備～ 5.活力とにぎわいのあるまちづくり ～産業・観光の振興～ 6.ともに築く協働のまちづくり ～地域自治の強化～
安堵町	1.まちの将来像「小さくてもキラリ光る交流のまち あんど」 2.まちづくりのテーマ「いきがい」「やさしさ」「心地よさ」「力強さ」 3.主な取組「力強さ 活力は夢を育むまちをつくる」として、基幹産業である農業の付加価値を高め、農業公園等の整備を含め観光・交流産業との連携を高めた「安堵ブランド」の形成」「地産地消のまちぐるみ運動の推進」。

## (2) 地域の産業と小規模事業者の現状と課題

### 1. 農業の現状と課題

生駒郡の農家数は648戸となっており（内、経営耕地のない農家1戸含む）、種別は、「田（稲作）」（98.0%）が最も多く、次いで「畑」（53.8%）、「果樹園」（15.1%）となっている。面積では、「田」が72.6%を占めており、「畑」が13.1%、「果樹園」が7.2%となっている。また、農産物販売金額規模農家数では販売金額200万円以上の農家数の割合が全体の25%となっており、県全体の平均を大きく上回っている。これは農家1戸あたりの販売金額が他地域に比べ多いことを示しており、生駒郡4町の中でも特に平群町、安堵町では町の主要基幹産業となっている。

しかしながら、農産物の出荷先は、その半数以上（50.3%）が農協であり、消費者への直売は3割程度に留まっていることなどから、地域の主要基幹産業であるにもかかわらず、農商工連携を促進し、地域内外に販路を拡大していくことによる地域活性化策が十分に図れていないことが課題となっている。

#### <生駒郡 経営耕地の状況>

	農家数	(県割合)	経営耕地面積	(県割合)
経営耕地のある農家	647	100.0%	50,493ha	100.0%
田	634	98.0%	36,663ha	72.6%

畑	348	53.8%	52.0%	6,605ha	13.1%	9.9%
果樹園	98	15.1%	20.1%	3,620ha	7.2%	17.4%

資料：平成 22 年 農業センサス

<生駒郡 農産物販売金額規模農家数>

販売金額	生駒郡 4 町合計						県計	
	平成 12 年		平成 17 年		平成 22 年		平成 22 年	
0～200 万円未満	689 戸	79%	545 戸	75%	486 戸	75%	12888 戸	86%
200～1,000 万円未満	103 戸	12%	97 戸	13%	95 戸	15%	1658 戸	11%
1,000 万円以上	80 戸	9%	83 戸	11%	67 戸	10%	494 戸	3%
計	872 戸	100%	725 戸	100%	648 戸	100%	15040 戸	100%

資料：平成 17 年 農林業センサス  
平成 12 年、平成 22 年世界農林業センサス

<生駒郡 農産物出荷先別農家数>

	農家数	(県割合)
農家数 計	648	100.0%
販売なし	73	11.3%
販売農家	575	88.7%
農協	385	50.3%
その他団体	40	8.0%
卸売市場	72	12.1%
小売業者	87	12.5%
食品製造業・外食産業	1	1.0%
消費者に直売	186	31.0%
その他	26	4.3%

資料：平成 22 年 農業センサス

2. 観光業の状況と課題

生駒郡の観光資源としては、世界遺産の法隆寺とその周辺の社寺や遺跡群、信貴山周辺の信貴山朝護孫子寺をはじめとする社寺や古墳群、富本憲吉記念館などの歴史・文化資源が多く存在し、加えて竜田川沿いの紅葉や信貴山のどか村などの自然関連の資源も豊富に存在している。

また、法隆寺周辺や信貴山周辺の主な観光拠点で多くの観光客がみられ、主要な観光地の入込客数の合計は 194 万 5 千人を超え、これは生駒郡を含む 5 市 11 町（大和高田市、大和郡山市、御所市、香芝市、葛城市、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町及び生駒郡 4 町）の観光客数が年間 527 万 9 千人（平成 26 年度奈良県観光客動態調査）であることから、奈良県西部を訪れる観光客の 3 分の 1 以上が郡内の主な観光拠点に訪れていることがわかる。しかし、点在する資源の特性を生かした散策・回遊型の観光となっておらず、法隆寺や信貴山等の主要観光地とその他の観光地とでは入込客数に大きな開きが生じている。また、同時に観光客の滞在時間が短く、観光客の地域経済への取り込みが十分に行えておらず、観光消費額の増額に結びついていない状況にある。



法隆寺 信貴山朝護孫子寺 安堵町歴史民俗資料館 信貴山のどか村

<生駒郡 主な観光拠点の入込客数（平成 26 年）>

	観光拠点	入込客数(人)	
平群町	信貴山朝護孫子寺	379,600	
	道の駅 大和へぐり	317,443	
	かんぼの宿 大和平群	79,587	
三郷町	信貴山のどか村	145,418	
	龍田大社	191,510	
斑鳩町	観光客数	828,041	
	拝観者数	法隆寺	752,764
		法起寺	21,481
		法輪寺	18,473
		中宮寺	9,766
安堵町	中家住宅	487	
	安堵町歴史民俗資料館	3,449	
合計(斑鳩町4寺の拝観者数除く)		1,945,535	

各町へのヒアリングによる

3. 地域内小規模事業所の現状と課題

生駒郡には、1,775 の事業所があり、14,076 人が働いている。業種別にみると、事業所では卸売・小売業が最も多く（26.0%）、次いで製造業（10.3%）、建設業（10.0%）となっている。従業者数では、卸売・小売業（22.7%）、製造業（20.3%）、医療・福祉（17.1%）の順となっている。

また、郡内全事業所数の 70%近くを占める小規模事業者においては、売り上げの低迷、後継者不足等による廃業によって事業所数が年々減少している状況にある。売上低迷の主な要因としては、人口の減少や高齢化による需要の低迷、ネット通販の台頭や大型チェーン店の出店による消費者の流出、また多様に変化する消費者ニーズに対応できていないことがあげられるが、これは、多くの小規模事業者の大半が家族経営、もしくは従業員が少数で経営者自身が日常の業務に入り込まざるを得ない状況であり、経営改善に向けた情報収集や経営分析を行う物理的な余裕がないことが要因となっている。

今後現状を乗り越えるためには、小規模事業者自らが、限られた時間の中で、より効率的に地域経済動向や需要動向を把握し、現状の経営状況を見直し、売上増大や新たな販路開拓に向けて経営分析や事業計画を立てるといった自立的な経営を行い、豊富な観光資源を経営に取り入れた持続的経営発展を図っていくことが最大の課題となっている。

<生駒郡 産業大分類別事業所数・従業者数>

	事業所数		（県割合）		従業者		（県割合）	
全産業(公務を除く)	1,775	100.0%	100.0%	14,076	100.0%	100.0%		
第一次産業	4	0.2%	0.3%	51	0.4%	0.3%		

農業	4	0.2%	0.1%	51	0.4%	0.2%
第二次産業	362	20.4%	19.2%	3,591	25.5%	22.5%
建設業	178	10.0%	8.3%	732	5.2%	5.3%
製造業	184	10.3%	10.9%	2,859	20.3%	17.3%
第三次産業	1,409	79.4%	80.6%	10,434	74.1%	77.2%
情報通信業	11	0.6%	0.6%	50	0.4%	0.6%
卸売・小売業	462	26.0%	26.6%	3,193	22.7%	21.8%
宿泊・飲食業	155	8.7%	11.1%	1,215	8.6%	10.7%
教育・学習支援業	55	3.1%	3.5%	405	2.9%	4.8%
医療・福祉	163	9.2%	7.7%	2,410	17.1%	15.0%

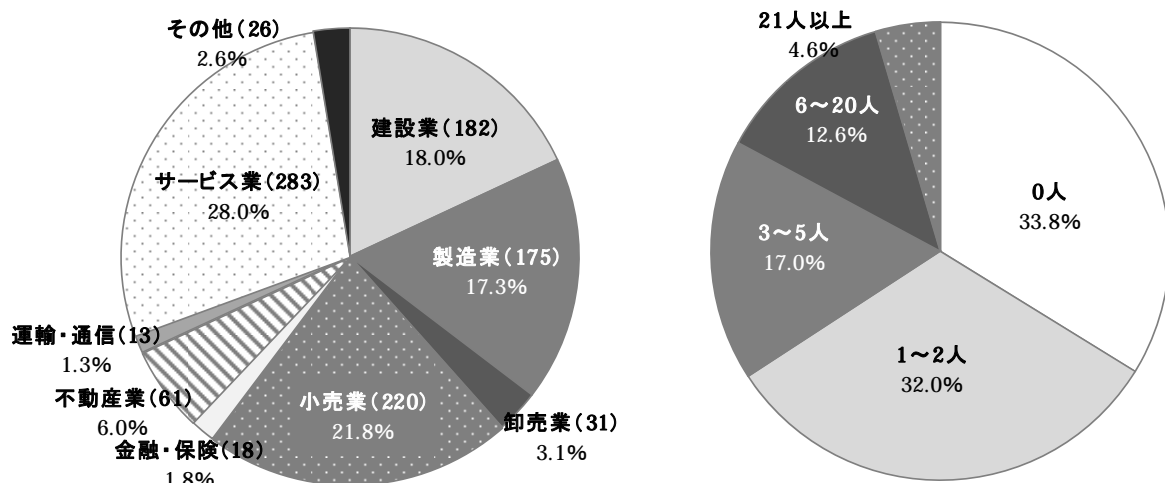
資料：平成 24 年 経済センサス活動調査

<生駒郡 小規模事業者数推移>

資料	H8 事業所統計	H13 事業所統計	H18 事業所統計	H21 経済センサス	H24 経済センサス
平群町	416	352	314	322	311
三郷町	359	323	285	343	287
斑鳩町	687	692	619	596	540
安堵町	172	149	134	114	104
合計	1,634	1,516	1,352	1,375	1,242

<生駒郡 4 商工会会員企業の業種別・従業員規模別企業数>

※下記のグラフは商工会会員の状況であるが、4 商工会の会員数合計は平成 26 年 3 月 31 日現在で 1,009 社であり、この内 90%以上の 927 社が小規模事業所である。これは、郡内小規模事業所の 75%を占めていることから、本グラフは郡内の小規模事業者の現状を反映していると言える。



資料：平成 26 年 各商工会調べ

### (3) 商工会の取組の現状と課題

これまで平群町商工会、三郷町商工会、斑鳩町商工会、安堵町商工会では、基礎的経営改善普及事業である税務、労務、金融支援に取り組むだけでなく、それぞれの地域特性にあわせた特産品開発などの地域活性化事業、観光イベント開催による観光振興事業、地域住民や地域の各種ボランティア団体との連携による地域貢献事業を実施し、地域に密着した総合経済団体としての役割を果たすべく事業を展開してきた。

また、平成16年度からは、事業者ニーズの多様化、高度専門化や新たに期待される地域経済活性化策に対応すべく、4商工会がより広域的な視点から地域内における商工業の改善発展を図り、業務の集中化等による効率的な事業実施を目的とした「生駒郡商工会広域協議会」を組織し、経営革新認定、事業承継、創業、ビジネスマッチング等の専門的支援に加え、着地型観光推進事業、観光業におけるビジネス展開を行う事業所・人材の育成事業に取り組んできた。

しかし、4商工会ともに近年の景気低迷や大型チェーン店、量販店の出店等による経営難から、廃業する会員事業所が増加しており、今後、経営者の高齢化、後継者不足などの現状を考えると増々地域内の会員数が減少することが危惧される現状にある。

また、商工会組織についても職員定数の見直しにより、4商工会合計で10年前と比べて職員数が約半減しており（平成16年度末 19名 →平成27年度 11名）、職員一人あたりの業務負担が増大しており、加えてここ数年で長年商工会をけん引してきたベテラン経営指導員の退職を控えており、若手職員の育成が急務となっている。

このような状況の中、4商工会共通の最大課題として、事業所への支援計画が十分に立てられておらず、事業者からの要望に応えるといった受動的な体制に陥っており、また支援を行った後の事業者へのフォローアップが十分になされていないことがあげられる。

#### <生駒郡4商工会 会員数推移>

	H22	H23	H24	H25	H26
平群町	232	222	214	212	206
三郷町	263	256	255	250	244
斑鳩町	453	443	418	419	417
安堵町	141	142	142	142	142
合計	1,089	1,063	1,029	1,023	1,009

各年度末数値

### (4) 小規模事業者の中長期的な振興の在り方

#### ①「小規模事業者並びに新規創業者等が自立した持続的経営発展を行い、

##### 自らが地域経済活性化の基盤であるという意識改革を行う事

小規模事業者並びに新規創業者等が、商工会を中心的な経営支援の拠り所としつつも、自らの経営を見直しながら一つずつ課題を乗り越え、未来に対して希望と活力を持った自立的且つ持続的な経営を行っていく上で、個々の小規模事業者が自らが地域経済を支えているという意識を持った事業展開を行って行く。

#### ②「小規模事業者等が、地域資源を活用した

##### 観光ビジネスの創出に伴う地域経済の活性化に取り組む事

本地域に豊富に存在している歴史・文化・自然資源の活用を通して、観光振興を中心とした経済活性化策に積極的に参画し、地域一体となった地域の魅力づくりに取り組む。

以上2点を本地域における小規模事業者の中長期的な振興の在り方と捉える。

## (5) 経営発達支援事業の目標

上記の中長期的な振興の在り方を踏まえ、経営発達支援事業の目標を次の通り定める。

- ① より広域的な視点で地域経済動向、需要動向を調査、収集、分析し、事業者提供を行いながら、1社でも多くの事業者の経営課題や成長性を掘り起し、事業計画策定支援や計画策定後の実施支援に対して、事業者に寄り添い、きめ細やかな伴走型の支援を行う中で、事業者が自ら自立の意識を持った持続的な経営を図っていくことを目標とする。
- ② 4商工会が中心となって、町行政、各種観光関連団体、観光産業事業所をつなぎ、各地域における特産品開発を通じた地域ブランドの確立、観光資源の掘り起しを行いながら、地域の小規模事業者が地域観光振興の発展に積極的に参画を行い、観光産業を主軸とした地域経済活性化を目標とする。

## (6) 目標の達成に向けた取組方針

地域内小規模事業者の現状と課題及び商工会の取組の現状と課題を踏まえ、経営発達支援事業の目標達成のために、①従来からの4商工会の広域連携である「生駒郡商工会広域協議会」の枠組みを更に発展させて、本事業の遂行を確実なものにする体制整える事、②小規模事業者の売上アップに有益なあらゆる情報をいち早く収集・分析し、提供する事、③小規模事業者の現状や抱える課題の実態を的確に把握し、売上アップまでの伴走型の支援を行う事、④小規模事業者が参画した観光業を中心とする地域経済活性化のためにあらゆる関係団体と従来以上に連携を行う事、を本事業における取組方針とする。

### 経営発達支援事業の内容及び実施期間

#### (1) 経営発達支援事業の実施期間（平成28年4月1日～平成33年3月31日）

#### (2) 経営発達支援事業の内容

##### I. 経営発達支援事業実施の内容

##### 1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

[現状]斑鳩町を除く3商工会については、巡回時におけるヒアリング調査のみに留まり、系統だった調査はほとんどできていない、また斑鳩町においても町内事業所15社に対し、4半期に一度の全国商工会連合会の中小企業景況調査を実施しているが、調査結果の分析、情報提供については実施できていない状況にある。

[今後の目標]

行政、地方金融機関等が公表する各種調査報告書等のデータ収集と併せて商工会でも独自に地域内小規模事業者に対して地域の経済動向の調査・データ収集を行い、それらを総合的に整理、分析することで地域内小規模事業者の実態に合ったより精度の高い地域内経済動向を的確に把握し、今後の小規模事業者の事業計画策定のための基礎資料として活用することを目的とする。

[事業内容]

- ① 地域内の小規模事業者を取り巻く経営環境を把握するため、県が公表している「奈良県の経済動向」（県知事公室統計課）、「県内企業動向調査報告書」（県産業・雇用振興部産業政策課）や（一社）南都経済研究所が公表している「奈良県経済の概況」、「ナント地



域経済調査」等の調査報告の収集を行い、大型小売店販売額、消費者物価指数、県内観光客数、宿泊者数巡回訪問等の項目について、個別支援の際に必要なに応じて迅速に情報提供を行える様に項目別、業種別に整理し、各商工会で情報共有を行う。（4町共同）

- ② 全国商工会連合会が実施している中小企業景況調査の調査票を基に各地域の小規模事業者を建設、製造、小売、サービスの4業種に分類し、主要5項目（売上・資金繰り・採算・設備投資・経営上の課題）についての調査を巡回訪問、郵送等にて4半期に一度行い、業種ごとに整理・分析し報告書としてまとめる。調査企業の選定については、各地域で4業種がそれぞれ均等数になるように振り分け、事業所規模が偏らない様にする。最終的な調査企業数は本調査の分析精度を高めるため地域内小規模事業者の10%程度を目標とする。（各商工会）
- ③ 上記①及び②の調査結果持ち寄り、半期に一度4町商工会合同での分析会議を開催する。分析会議では中小企業診断士等の専門家の助言・指導の下、地域別、業種別に整理し、小規模事業者が自らを取り巻く経営環境を的確に把握できるように、より小規模事業者目線に立った分析を行い、生駒郡全域の経済動向調査報告書としてまとめる。作成した報告書は各商工会及び生駒郡商工会広域協議会HPへ掲載・公表するとともに、巡回訪問を通じて小規模事業者に対して情報提供を行い、事業計画策定支援の際の基礎資料として活用を行う。また、各4町行政へも提出を行い各種小規模事業者施策の資料として活用する。

[調査企業目標数（上記②）]

	現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
平群町商工会	未実施	12	20	24	32	32
三郷町商工会	未実施	12	20	20	28	28
斑鳩町商工会	15	28	40	40	48	56
安堵町商工会	未実施	8	8	12	12	12
4町合計	15	60	88	96	120	128

[巡回訪問による調査報告書情報提供目標数]

	現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
平群町商工会	未実施	20	40	80	120	160
三郷町商工会	未実施	30	60	120	180	200
斑鳩町商工会	未実施	50	100	200	270	270
安堵町商工会	未実施	10	20	30	40	60
4町合計	0	110	220	430	570	690

※目標として、最終的に各地域小規模事業者数の50%以上の事業者へ情報提供を行う。

## 2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

[現状] これまで経営状況分析については、4商工会ともに金融支援や補助金等申請案件がある場合にのみ実施しているに留まっており、各担当職員が単独で行うか、または専門家を派遣した場合においても、時間的な制限がある中での分析であるため、十分な精度とは言えず、事業計画策定に活用できているとは言えなかった。

[今後の目標]

地域内小規模事業者に対して計画的な巡回訪問を行い、小規模事業者が今後の持続的経営発展

や新たな事業展開を見据えた自社の経営状況分析に取り組む意欲を高めるとともに、自社の実態をしっかりと把握するため、4商工会が情報を共有しながら統一した基準を基に、能動的な支援対象事業者の選定、分析データの収集を行い、より高度な案件については奈良県商工会連合会、奈良県よろず支援拠点と連携しながら、専門家の指導のもと実際の事業発展につながる精度の高い経営状況分析を行うことを目的として以下の手順で実施する。

[事業内容]

- ① 巡回訪問時に使用するヒアリングシートの作成（4商工会共同）  
より効率的に経営状況分析支援を行う小規模事業者の選定を行うために以下の項目に沿って巡回訪問時に使用する4商工会統一のヒアリングシートの作成を行う。

<ヒアリングシート項目>

項目	内容
後継者の有無	後継者がいるかどうか 事業継承を検討しているかどうか
商品・サービスの内容	自社製品の特色や強みを把握しているか
財務状況	資金面での問題はないか
販路開拓	販路開拓に取り組む意欲はあるか
経営に対する姿勢	各種補助事業申請に積極的かどうか セミナー等に参加する意欲があるか
その他	地域の特産品開発につながる可能性があるか 観光産業の振興につながる可能性があるか

- ② 定期的、計画的な巡回訪問の実施（各商工会）  
経営指導員一人につき年間300件の巡回訪問を最終目標とし、ヒアリングシートを用いた聞き取りによる調査を行う。また会員事業所だけでなく、非会員の小規模事業者についても年1回巡回訪問を実施する。  
なお、個々の職員別に各自年間スケジュールを立て、計画的に巡回訪問を行うよう徹底する。

- ③ 経営分析対象事業所の選定（4商工会合同）  
4商工会での情報の共有化を図るため、4半期に一度各商工会にて収集を行ったヒアリングシートを持ち寄り、経営分析を行う事業所の選定を行う。  
経営分析を行う事業所については、ヒアリングシートの結果を基に経営指導員一人につき最終的に年間10件を目標として選定を行う。

- ④ 分析シートを使用したデータの収集（各商工会）  
中小企業診断士等の専門家と協力し下記の項目を盛り込んだ分析シートの作成を行い、支援対象として選定を行った事業者に対して巡回訪問を通じた分析データの収集を行う。また、他地域の動向等を共有するため、データ収集の際の巡回訪問時は他地域の経営指導員も同行するようにする。

<分析シート項目>

経営理念
SWOT分析（強み・弱み、危険性）
財務諸表
販売データ
顧客データ
従業員等雇用状況

- ⑤ 収集データに基づいた経営状況分析、経営課題の抽出（各商工会）  
 収集を行った分析データ基に経営状況の分析、新たな経営課題の抽出を行う。なお、高度な専門知識を要する案件については、奈良県商工会連合会、奈良県よろず連携拠点と連携した専門家派遣制度を活用し、中小企業診断士等の専門家を派遣し経営状況の分析を行う。
- ⑥ 分析を行った結果については、迅速に支援対象事業者に対してフィードバックを行い、今後の事業計画策定支援につなげていくための提案資料として活用する。また、分析結果のデータベース化を行い、4商工会で情報共有することで、職員の経営状況分析支援に対する分析手法等の統一化を図るとともに若手職員等のOJTに活用する。

[経営分析目標数]

	支援内容	現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
平群町商工会	巡回件数	554	575	575	600	600	600
	経営分析件数	1	10	10	20	20	20
三郷町商工会	巡回件数	154	200	250	250	300	300
	経営分析件数	3	5	5	5	10	10
斑鳩町商工会	巡回件数	234	350	400	450	550	600
	経営分析件数	4	10	10	20	20	20
安堵町商工会	巡回件数	258	275	275	300	300	300
	経営分析件数	0	5	5	10	10	10
4町合計	巡回件数	1200	1400	1500	1600	1750	1800
	経営分析件数	8	30	30	55	60	60

※経営指導員数

平群町商工会 2名、三郷町商工会 1名、斑鳩町商工会 2名、安堵町商工会 1名、合計 6名（H27.12時点）

### 3. 事業計画策定支援に関すること【指針③】

[現状] これまでの事業計画策定支援については、4商工会ともに補助金申請等の案件があった場合に行うのみに留まっており事業計画セミナーや個別相談会を実施しても、そのあとのフォローアップを行うといった体制が出来ていなかった。

[支援に対する考え方と今後の目標]

小規模事業者が需要を見据えた新たな事業展開、販路開拓に向けて取り組む事業計画策定に対して、事業者に寄り添った伴走型の支援、指導を行う。支援対象としては、経営状況分析支援を行った全ての事業所及び各種セミナーの開催を通じて掘り起しを行った意欲のある事業者に対し、上記の経済動向調査結果と需要動向調査結果を踏まえながら重点的に事業計画策定の提案をし、計画策定については、奈良県商工会連合会、中小企業基盤整備機構近畿支部、奈良県よろず支援拠点と連携を図り、中小企業診断士等専門家の派遣を行い、小規模事業者が需要を見据えた売上アップに直結する実現性のある事業計画を策定するための支援を行う。なお、最終的な支援企業数は経営指導員1人あたり年間10件を目標とする。

[事業内容]

(1) 経営状況分析支援事業者に対する支援

経営状況分析支援を行った全ての事業者に対し巡回訪問を実施し、事業計画策定の提案を行う。また、事業計画策定支援については、地域の経済動向調査結果及び需要動向調査結

果を資料として活用し、奈良県商工会連合会、中小企業基盤整備機構近畿支部、奈良県よろず支援拠点との連携の下で中小企業診断士等の専門家を派遣し、より実現性のある計画策定に向けて、事業者に指導を行う。

(2) 各種セミナー開催を通じた事業者の掘り起しによる支援

①定期的に事業計画策定セミナーと個別相談会をセットで開催することでセミナー受講後すぐに専門家による個別相談を行い、個々の事業所に対して事業計画策定に取り組む意欲を高め、支援事業者の掘り起こしを図る。また、セミナー及び個別相談の広報については、各町行政の広報誌等で地域に広く周知を行うとともに、商工会役員、青年部、女性部の横のつながりを活用し、積極的な参加を促す。なお、事業計画策定の実施支援については上記(1)と同様に行う。

②新規創業者または第2創業者を対象とした創業セミナーを開催し、一過性ではなく地域に根付いた産業の発展を目指すことを目的として、受講者の中から特に優良なビジネスモデルに対して、上記①と同様に事業計画策定支援を行う。支援については奈良県商工会連合会、奈良県よろず連携拠点と連携し各種専門家の派遣を行いながら定期的に巡回訪問を行い、創業以降も伴走型の支援を行う。

(3) 「小規模事業者経営発達支援融資制度」(日本政策金融公庫)の活用を積極的に周知し、申込時における事業計画策定支援を行うことで、事業者が安定した持続的経営を行えるよう支援を行う。

[目標値]

	現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
事業計画セミナー及び個別相談会回数(合同)	1	2	2	3	3	3	
上記セミナー等による事業計画策定支援提案事業所数	0	10	10	20	20	20	
創業セミナー回数(合同)	0	1	1	1	1	1	
創業支援件数(4町合計数)	3	5	10	10	15	15	
事業計画策定支援件数	5	19	22	40	54	60	
内訳	平群町商工会	0	5	7	15	20	20
	三郷町商工会	1	5	5	5	7	10
	斑鳩町商工会	4	7	7	15	20	20
	安堵町商工会	0	2	3	5	7	10

※経営指導員数

平群町商工会2名、三郷町商工会1名、斑鳩町商工会2名、安堵町商工会1名、合計6名(H27.12時点)

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

[現状]これまで事業計画策定支援を行った事業者への進捗状況及び計画策定による効果の確認が十分になされておらず、事業者によっては支援効果の差が激しく課題解決に向けた支援が出来ていなかった。

[今後の目標]

事業計画策定支援を行った全ての事業者に対して、定期的に進捗状況を確認するとともに必要

に応じて奈良県商工会連合会、中小企業基盤整備機構近畿支部、奈良県よろず支援拠点、日本政策金融公庫等と連携し、策定した事業計画実行達成に向けたきめ細やかな、且つ継続した支援を行い、策定した事業計画を事業者自身が随時見直し、事業所内でのPDC Aサイクルの確立を構築させ、自立した経営を行う事業所を輩出することを目標とする。

[事業内容]

- ① 事業計画策定を行った全事業所をデータベース化し、計画実施の進捗状況、新たな課題、支援状況等をまとめ、4商工会で情報の共有化を図る。
- ② 事業計画策定後2年間は3ヶ月に一度巡回訪問を行い進捗状況の確認を行うとともに事業者と今後の計画実行について検討及び助言を行う。また、国、県などの各種小規模事業者支援施策について周知及び活用を促す。
- ③ 専門的な支援内容については、奈良県商工会連合会、中小企業基盤整備機構近畿支部、奈良県よろず支援拠点と連携とり、各種専門家派遣制度を活用する。また、現状と計画との間に大きな乖離がある場合については、その都度要因分析を行い計画の見直しを行うとともに事業者自身が計画の実行状況を確認するための体制構築を行える様指導を行う。(PDC Aサイクルの確立)
- ④ 特に観光産業、特産品開発を行っている優良な事業者に対しては日本政策金融公庫の「小規模事業者経営発達支援融資制度」の積極的な利用を促し、事業計画の拡大、新たなビジネスモデルの創出に向けた継続した伴走型の支援を行う。

[事業計画策定後のフォローアップ件数]

	現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
平群町商工会	0	5	15	40	100	160
三郷町商工会	0	10	30	35	50	80
斑鳩町商工会	0	20	40	50	100	160
安堵町商工会	0	5	10	20	40	70
4町合計	0	40	95	145	290	470

※事業計画策定後、2年間は3ヶ月に一度の巡回訪問を行うため、各年度の件数は、前2年間の巡回件数を含んでいる。

**5. 需要動向調査に関すること【指針③】**

[現状]これまで4商工会ともに個別事業所支援において必要な項目のみを統計資料等から収集する等は行っていたが、小規模事業者の持続的発展を目的とした需要動向調査についてはほとんど行っていない。

[今後の目標]

小規模事業者が取り扱う既存の商品・サービスの販路拡大や自らがトレンドを作るための「売れる」新商品開発に活用できる消費者ニーズ、需要動向等を的確に収集・把握し、事業計画策定時に事業者に提供することで販売ターゲットを明確にし、新たな需要の開拓につなげる事を目標とする。調査の内容としては観光需要動向及び地域の消費需要に重点を置き調査・分析を行う。具体的な事業内容については以下の通り。

[事業内容]

① 各種統計データの調査

国土交通省観光庁の「旅行・観光消費動向調査」「訪日外国人消費動向調査」「観光入込客統計」、奈良県の「観光客動態調査」「宿泊統計調査」等の公的統計データや日経レコムのPOSデータ等の市場データを収集し、年1回専門家に調査・分析を依頼し、結果をHPにて掲載することで、各事業者に対しての情報提供を行う。

② 事業所アンケート調査

小規模事業者が取り扱う商品・サービスに対する需要動向を調査するため奈良県商工会連合会、奈良県よろず支援拠点と連携し、新商品・サービス開発、販路開拓等に関するセミナー、相談会、各種展示会、物産展に積極的に取り組む観光産業事業者及び地元産品を取り扱う事業者に対して、アンケート形式での調査を行い、分析した調査結果をフィードバックし、経営分析の資料とする。主な調査項目は、商品・サービスの内容、商品価格、購買頻度、年代性別ごとの売上、来訪地域別売上、リピート率、生産額など。

③ 消費者マーケティング調査

地域内消費者調査と主に県外、海外からの観光客である地域外消費者調査に分けて需要動向の調査を行い、地域内外ともに事業者が気づいていない消費者需要の掘り起こしを行い、事業者に対して新たな商品・サービスの開発、販路開拓上での基礎資料として活用する。

(ア) 地域内消費者調査（地元一般消費者向け）

各地域で開催している商工会主催イベントの際に一般来客者に対してアンケート形式での調査を行う。主な調査項目は、今後の暮らしの見通し、物価の見通し、自己啓発・趣味・レジャー等の支出予定、主要耐久消費財等の保有・買替状況、世帯の状況、生活必需品の購買地域、大型店の利用頻度等。

(イ) 地域外消費者調査（観光客向け）

各町行政、観光協会、主要観光施設と連携し、旅行者に対してアンケート形式での調査を年1回行う。また、斑鳩町商工会が新たな観光情報発信の拠点として平成27年12月にオープンしたアンテナショップ「FIVE PAGODA」及び「道の駅大和路めぐりくまがしステーション」においても同様の調査を来客者に対して随時行う。主な調査項目は、住所地、年齢、性別、旅行目的、旅行頻度、土産物の品目、購入金額、飲食店等の利用の有無、消費金額、交通手段等。

④ 上記①～③で収集したデータを奈良県商工会連合会及び奈良県よろず支援拠点等と連携し専門家の協力の下、分析を行い生駒郡商工会広域協議会HPにて掲載し、また個々の事業所にフィードバックを行うことで事業計画策定時の融資斡旋・販路開拓支援などの必要な支援に活用する。

[目標数]

	現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
各種統計データの調査(合同)	0	1	1	1	1	1
事業所アンケート調査数	0	21	21	21	25	25
内訳	平群町商工会	0	5	5	5	5
	三郷町商工会	0	5	5	5	5
	斑鳩町商工会	0	7	7	10	10
	安堵町商工会	0	4	4	5	5
消費者マーケティング調査数	0	250	250	500	500	500
内訳	平群町商工会	0	50	50	100	100
	三郷町商工会	0	50	50	100	100
	斑鳩町商工会	0	100	100	200	200
	安堵町商工会	0	50	50	100	100
事業所フィードバック数	0	30	30	30	45	45
内訳	平群町商工会	0	7	7	7	10
	三郷町商工会	0	7	7	7	10
	斑鳩町商工会	0	10	10	10	15
	安堵町商工会	0	6	6	6	10

## 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】

[現状]これまで4商工会ともに新たな需要の開拓に関しては、事業所に対して各種商談会、展示会、物産展の情報提供に留まっており、個々の事業所に対して開拓すべき販路やターゲット層を明確に把握する支援が出来ていなかった。

[支援に対する考え方と今後の目標]

小規模事業者が今後更なる売上増大、利益の確保を図るための新たな需要の開拓や掘り出しを行う上で、経済動向、需要動向を踏まえた顧客ニーズに合った効果的な情報発信を行える機会を増大するため、個々の事業者の業種や保有する商品・サービスのターゲット層に応じた最も適した各種販路開拓支援メニューを提案し、それに向けての伴走型の支援を柱とする。支援メニューについては、自社HPの作成等によるIT活用支援及び各種物産展、商談会、展示会等の出展支援を行う。なお、支援案件に応じて奈良県商工会連合会、奈良県よろず支援拠点等の専門家派遣制度を活用し専門家による個別支援を行う。具体的な事業内容、目標は以下の通り。

[事業内容]

- ① 自社HP・ソーシャルネットワークによる情報発信支援  
 セミナーや専門家による個別相談の開催を通じてインターネットによる情報発信事業を支援する。具体的には、全国商工会連合会の事業所HP作成システムである「SHIFT」を活用し、費用的・技術的にITの活用を通じた販路開拓を行うことが困難な事業者に対して負担無く情報発信ができるようにすることを目的として、HPの立ち上げから更新作業、定期的なアクセス数の管理による内容の見直し、ネットショップの立ち上げにいたるまで経営指導員が寄り添って支援を行う。また、同じく全国商工会連合会の公式ショッピングサイト「ニッポンセレクト.com」への登録を推奨しあらたな販路開拓を進める。  
 なお、HP立ち上げ等の新規情報発信支援数については、5年間で生駒郡地域小規模事業者数の10%（130社）を目標とする。

<支援企業数目標>

		現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
新規情報発信支援数	内 訳		16	22	24	24	30	30
		平群町商工会	2	3	3	3	5	5
		三郷町商工会	0	2	3	3	5	5
		斑鳩町商工会	14	15	15	15	15	15
		安堵町商工会	0	2	3	3	5	5

② 物産展、商談会、展示会、アンテナショップ等への出展支援

各関係団体との情報共有やインターネットを通して県内外の各種物産展等の開催情報及び各アンテナショップの募集情報等をいち早く収集し、業種や想定するターゲット層を整理した一覧表を作成し、事業計画策定支援を通して新商品開発を行う事業所や、意欲のある事業者巡回訪問等にて提供し、出展参加の提案を行うとともに、奈良県商工会連合会、奈良県よろず連携拠点との連携の下、専門家を派遣し、出展参加に臨むまでの顧客ターゲット別の営業力強化支援や商品・サービスのブラッシュアップ支援から参加後のフォローアップ支援まで一貫した「より売れる商品づくり」を目指すためセミナーや専門家による個別相談を行う。

<主な物産展・展示会・アンテナショップ>

開催内容	イベント名（主催／開催地等）	主な支援対象者	訴求対象者
物産展	ニッポン全国物産展 （全国商工会連合会／東京都）	・製造加工業者 （B to C）	関東圏及び全国の 一般消費者
物産展	奈良県商工まつり （県中小企業団体中央会、県商工会連合会、 県商工会議所連合会／奈良県橿原市）	・食料品製造業 ・飲食業 ・特産品製造販売業 （B to C）	県内及び近隣県の 一般消費者
商談・展示会	ビジネスマッチなら （奈良県商工会連合会、橿原商工会議所 ／奈良県橿原市）	・食料品製造加工業 ・非食品製造加工業 ・農商工連携事業者 （B to B）	大手百貨店、量販 店、流通バイヤー
商談・展示会	<ナント>ものづくり元気企業マッチングフェア （株式会社 南都銀行／大阪府）	・非食品製造加工業 ・新商品開発事業者 ・ものづくり事業者 ・建設業 （B to B）	国内大手企業 海外企業 業務連携対象業者
アンテナショップ	むらからまちから館 （全国商工会連合会／東京都）	・地域特産品、土産物品 取扱事業者 （B to C）	関東圏及び全国の 一般消費者
アンテナショップ	奈良まほろば館 （奈良県／東京都）	・地域特産品、土産物品 取扱事業者 （B to C）	関東圏及び全国の 一般消費者
アンテナショップ	いかるがアンテナショップ「FIVE PAGODA」 （斑鳩町商工会／奈良県斑鳩町）	・地域特産品、土産物品 取扱事業者 ・農商工連携事業者 （B to C）	一般観光客 地元消費者 小売販売事業者



その他	道の駅大和路へぐり くまがしステーション (公益財団法人 平群町地域振興センター ／奈良県平群町)	・地域特産品、土産物品 取扱事業者 ・農商工連携事業者 (B to C)	一般観光客 地元消費者 小売販売事業者
-----	---	---	---------------------------

<支援企業数目標>

		現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
物産展等出展支援		25	40	50	75	75	75	
	内 訳	平群町商工会	5	10	10	15	15	15
		三郷町商工会	2	5	10	15	15	15
		斑鳩町商工会	18	20	20	30	30	30
		安堵町商工会	0	5	10	15	15	15

※上記目標数は物産展、商談会、展示会、アンテナショップ出品支援事業所数の合計  
ただし、商談会は1回の参加につき1事業所5件以上の商談件数を目標とする。

## II. 地域経済の活性化に資する取組

[現状] これまでの地域経済の活性化に資する取組として、4商工会がそれぞれ町行政等と連携し、観光イベントや地域産業振興イベントを実施し、一定の効果を上げてきたところであるが、他地域との連携を行っているとは言えず、生駒郡全体としての観光周遊率及び経済活性化を高めている取り組みには至っていなかった。一方、4商工会で構成している生駒郡商工会広域協議会では、平成18年度より「斑鳩・信貴ニューツーリズム創出による観光ビジネス強化事業」を実施しており、着地型観光の核となる事業所・人づくりを通して地域経済の活性化に取り組み、広域的な観光ビジネスの展開に成果を上げてきたが、各地の町行政や各種団体で取組意識に温度差があり、地域全体としての連携体制が十分ではなかった。

### [今後の取組]

生駒郡商工会広域協議会にて実施してきた「斑鳩・信貴ニューツーリズム創出による観光ビジネス強化事業」を主軸事業としてとらえ、名称を「(仮)生駒郡ニューツーリズム創出による観光ビジネス強化事業」と変更し、4商工会が中心となって各町行政、観光協会、各種団体をつなぎ、生駒郡全体として統一した方向性を持った今後の観光振興の発展を目指す体制を構築する。また、商工会が主体となった連携体制の中で、各地域に眠る観光資源の掘り起しや、各地域の特色を生かした地域ブランドの確立を行い、既存の観光イベントと連動させることで、新たな体験交流型観光プログラムの開発を行い、地域一丸となった観光客周遊率、リピート率の向上を図り、地域全体の観光消費増大を通じた地域経済活性化を行う。

### [ (仮) 生駒郡ニューツーリズム創出による観光ビジネス強化事業の内容 ]

#### (1) 各種団体と連携した新たな体験交流型観光プログラム開発検討 (4町共同事業)

##### ■ 「(仮) 生駒郡ニューツーリズム創出連携協議会」による検討・開発

4商工会が中心となって、各地の町行政、観光協会、観光地、地元観光ボランティア団体、観光産業事業者等に参画を依頼し、「(仮)生駒郡ニューツーリズム創出連携協議会」を組織し、生駒郡地域一体となった新たな体験交流型観光プログラムの検討・開発を行う体制を構築する。また、年に4回は全体会議を開催し、観光カリスマや、JTB地域交流ビジネス推進室、広告代理店等をアドバイザーとして、地域振興としての観光ビジネスのあり方、観光プロモーションのポイント、観光交流における精神的効果と経済効果、体験プログラムの企画商品化、受け入れ側のノウハウ等における意識の統一化、共有化を図りながら、各地域の観光資源の掘り起しや下記(2)で確立を行う新たな地域ブランド、各観

光イベントを連動させた体験交流型観光プログラムの企画開発を行う。

■中小企業基盤整備機構等の観光商談会参加

「(仮) 生駒郡ニューツーリズム創出連携協議会」において、企画開発をおこなった体験交流型観光プログラムの中から、実現性の高いプログラムをタリフ作成と旅行行程計画書としてまとめ、中小企業基盤整備機構等が開催する観光商談会に積極的に参加し、旅行代理店や旅行関連マスメディアのバイヤー、アドバイザーからアドバイスを受けることで更なるブラッシュアップを行う。

■モニターツアー実施

観光商談会における旅行行程計画書の内容をモニターツアー向けに再構築し、JTB奈良支店協力のもと、旅行会社、交通機関、出版社、広告代理店を参加対象としたモニターツアーを行い、様々な目線での評価をアンケート調査などによって行なう。また、企画商品化を実践するため、ターゲットを近畿圏内の「大学留学生」に設定してモニター参加者を募集し、外国人からの目線による評価をアンケート調査などによって行なう。

■体験型観光WEBサイト「旅の発見」や「asoview」の活用

これまでに企画商品化された体験型観光交流プログラムを、事業連携してきた近畿日本ツーリストと角川グループが運営する体験型観光WEBサイト「旅の発見」や、ジェイティービー（JTB）系列の遊び・体験予約サイト「asoview!」への登録を促し販路の拡大を図り、地域の魅力を観光客に伝え、新たな「奈良県ファン」の獲得を目指す。

■法隆寺&信貴山周辺ガイドブック改訂版制作

生駒郡の歴史探訪、体験体感スポット、飲食店、宿泊施設、特産品等を紹介する、新たな「法隆寺&信貴山周辺ガイドブック」を制作し、当該地域や奈良県内外の観光情報発信拠点などに長期的に配置、配布して観光客を誘客する。

(1) 特産品開発を通じた地域ブランドの検討・開発（各商工会事業）

■平群町商工会が行う事業

平群町の基幹産業である農業（北部のいちご、中部のバラ、小菊、南部のデラウェア）を生かし、町行政、農業協同組合、農業者及び商工業者と連携し6次産業化を図り、地産地消と観光客向け土産物両面から特産品開発を行い年1回地域ブランドの確立を行う。

■三郷町商工会が行う事業

三郷町にある奈良学園大学及び町行政、商工業者と産学官連携を取り、古くからの産業であった草履や町の花であるひまわり等を使った特産品開発、主要な観光名所である信貴山朝護孫子寺等と関連した新たな土産物開発を行い、年1回地域ブランド確立を行う。

■斑鳩町商工会が行う事業

平成25年より地域ブランドとしての開発検討を行ってきた斑鳩名物「竜田揚げ」について、将来にわたり長期的に地域に定着した地域ブランドとしての確立を目指した事業を展開していく。具体的には、アンテナショップ「FIVE PAGODA」を拠点として、一般社団法人 未来づくり斑鳩と連携の下、海外も視野に入れた広域的な情報発信や取扱事業所への研修会、先進地との比較検討を行い事業所が主体となったビジネス化を目指す。また、今後新たな特産品開発を行い、年1回地域ブランドの確立を行う。

■安堵町商工会が行う事業

奈良県が主催する県内のご当地鍋イベントである「第1回あったかもんグランプリ」（平

成26年2月開催)にて審査員特別賞を受賞し、以後継続して出展を行うことで認知度がある、「あんの芋煮鍋」をはじめとして、地元産の農産物を使った特産品開発を農業協同組合、農業者、商工業者、町行政、各種観光団体と連携し、安堵町の新たな特産品としての商品開発を行い地域ブランドの確立を年1回行う。

[事業目標]

	現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
生駒郡ニューツーリズム創出 連携協議会による 検討会議	0	4	4	4	4	4
体験交流型観光プログラム 企画商品化数	2	2	3	3	4	4
観光商談会出展数	2	2	3	3	4	4
モニターツアー開催数	2	2	3	3	4	4
体験型観光WEBサイト 「旅の発見」登録数	1	1	2	2	4	4
法隆寺&信貴山周辺 ガイドブック制作回数	1	1	1	1	1	1
地域ブランド開発事業	2	4	4	4	4	4
内 訳	平群町商工会	0	1	1	1	1
	三郷町商工会	1	1	1	1	1
	斑鳩町商工会	1	1	1	1	1
	安堵町商工会	0	1	1	1	1

### Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

#### 1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

- (1) 4町行政、各観光協会、各地域主要観光施設等と情報交換会議を年1回開催し、各地域の観光客動向や、今後の観光行事イベントについての情報を共有し、地域一体となった観光客誘客に向けた体制を構築、持続する。
- (2) 商品開発、販路開拓についての支援手法、支援状況、課題等について、奈良県商工会連合会及び奈良県よろず支援拠点と情報交換を年4回実施し、今後の支援に関して事業者に対して効果的な支援を行えるよう情報の共有を図る。
- (3) 日本政策金融公庫及び地元金融機関との情報交換会を年1回開催し、地域の経済動向や、事業者への支援状況などの情報共有を行い、事業者に対しての効果的且つ迅速な金融支援につなげる。

#### 2. 経営指導員等の資質向上等に関すること

- (1) 各種研修会への参加  
奈良県商工会連合会、全国商工会連合会、中小企業基盤整備機構等が主催する各種研修会に積極的に参加、また全国商工会連合会のWEB研修を受講し、事業所支援に対しての経営計画策定、販路開拓支援の手法を習得し、個々の資質向上を図る。
- (2) 職員勉強会の実施

3ヶ月に一度、奈良県商工会連合会、奈良県よろず支援拠点等との連携の上、中小企業診断士等を講師として招き、4商工会職員全員での勉強会を開催し、上記(1)の研修会等で習得した支援手法を職員全員で共有し、経営指導員のみでなく全職員が経営指導員と同じ基準で事業所に対して支援が行えるよう、資質向上を図る。

また、実際に売上拡大につながった支援事例について、支援先の事業者を交えた職員による事例発表の機会を設けることで、事業所支援におけるスキルアップと、実際の事業所支援におけるプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を図る。

(3) 若手職員、異動職員等に対するOJT

経営分析支援や事業計画策定支援時にベテラン職員と若手職員又は経営指導員へ職種変更した職員とのペアでチーム体制により支援を行うことで、ベテラン職員の指導手法等を学びOJTにより伴走型の支援能力の向上を図る。

### 3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

経営発達支援計画の事業評価および見直しについては、下記の手順により行い、PDCAサイクルを構築する。

- ① 毎年度の事業実施状況及び成果について、経営発達支援事業委員会を立ち上げ、6ヶ月に一度開催し、事業進捗状況、成果、見直し案について意見を求める。  
委員会構成については、各商工会会長、各商工会役員（副会長又は各部長）、各商工会青年部・女性部部員等若手経営者2名、奈良県商工会連合会担当者、外部有識者2名
- ② 各4商工会理事会にて報告の上、見直し結果を踏まえた今後の方向性について決定し、各総会（総代会）にて承認を受ける。
- ③ 生駒郡商工会広域協議会の総会にて、各商工会の今後の方針を取りまとめ、4町連携した事業実施について検討を行う。
- ④ 事業の成果及び評価、今後の方針について生駒郡商工会広域協議会HPにて掲載・公表を行う。

(別表 2)

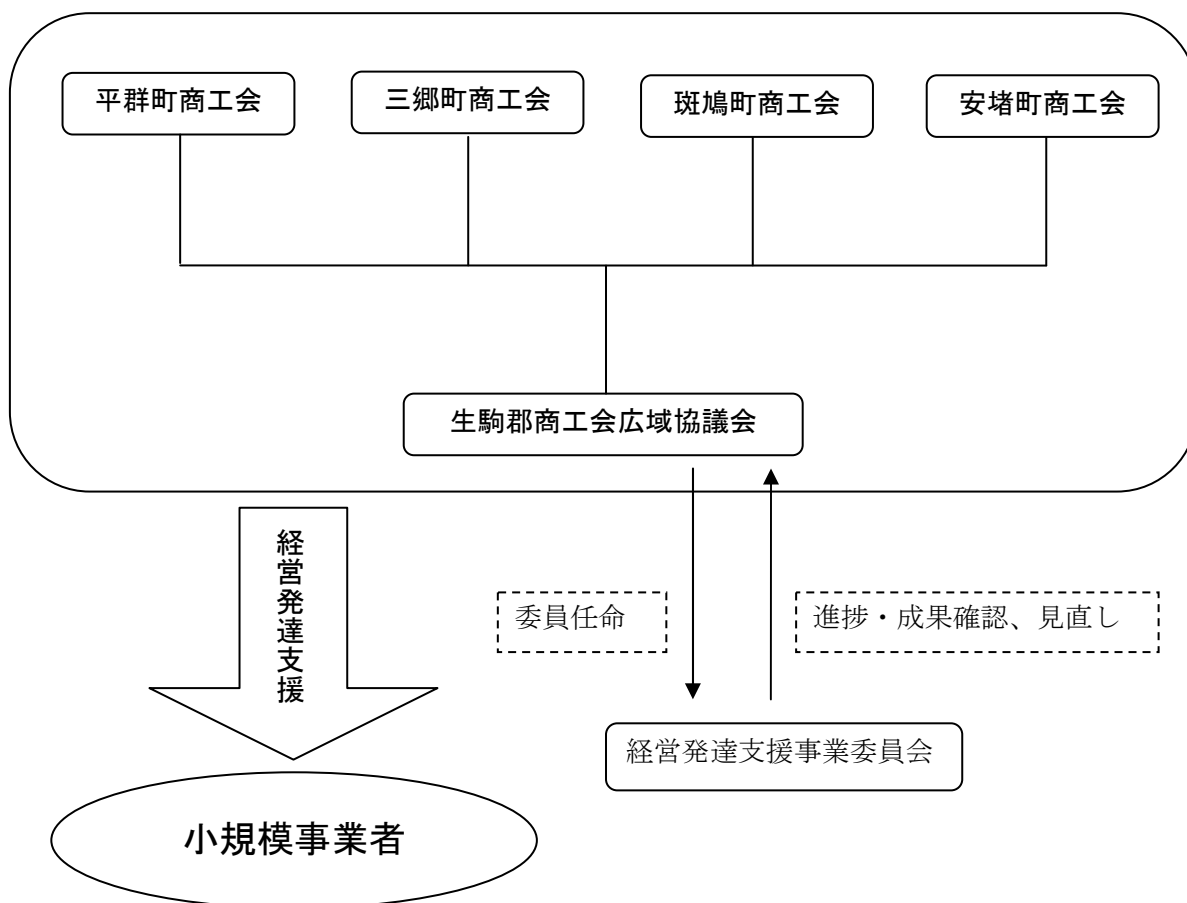
経営発達支援事業の実施体制

経営発達支援事業の実施体制

(1) 組織体制

4商工会の従来からの連携体制である生駒郡商工会広域協議会を主体とするが、斑鳩町を除く3商工会については、職員数が3人、2人と少数であるため、斑鳩町商工会を幹事としつつも、全商工会全職員での事業実施を行う。また、事業の進捗状況、成果の確認、事業計画の見直しを検討する委員会である「経営発達支援事業委員会」の委員についても、本広域協議会にて任命を行う。

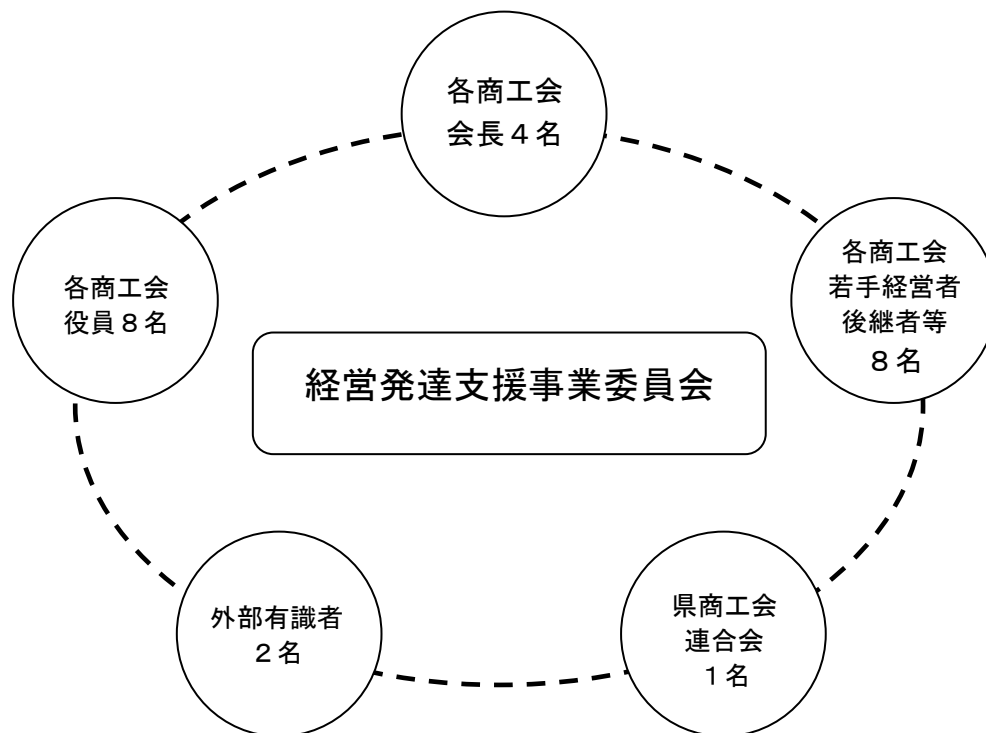
【組織図】



【各商工会職員数】

職種名	平群町商工会	三郷町商工会	斑鳩町商工会	安堵町商工会
事務局長	—	—	1	—
経営指導員	2	1	2	1
経営支援員	1	1	1	1
合計	3	2	4	2

【経営発達支援事業委員会構成】



(2) 連絡先

生駒郡商工会 広域協議会	生駒郡斑鳩町龍田南 1-3-49 TEL 0745-74-2564 HP <a href="http://www.shokoren-nara.or.jp/ikoma/">http://www.shokoren-nara.or.jp/ikoma/</a>
平群町商工会	生駒郡平群町福貴 1037-2 TEL 0745-45-1300 HP <a href="http://heguri-s.sakura.ne.jp/">http://heguri-s.sakura.ne.jp/</a>
三郷町商工会	生駒郡三郷町勢野西 1-2-2 TEL 0745-72-7462 HP <a href="http://www.shokoren-nara.or.jp/ikoma/info-sangou.htm">http://www.shokoren-nara.or.jp/ikoma/info-sangou.htm</a>
斑鳩町商工会	生駒郡斑鳩町龍田南 1-3-49 TEL 0745-74-2500 HP <a href="http://ec.shokokai.or.jp/cmsdb/cm06010/index/?ken=29&amp;block=44">http://ec.shokokai.or.jp/cmsdb/cm06010/index/?ken=29&amp;block=44</a>
安堵町商工会	生駒郡安堵町東安堵 958 TEL 0743-57-1524 HP <a href="http://www.shokoren-nara.or.jp/ikoma/info-anndo.htm">http://www.shokoren-nara.or.jp/ikoma/info-anndo.htm</a>

## (別表 3)

## 経営発達支援事業の実施に必要な資金の額及びその調達方法

(単位 千円)

	平成 28 年度 (28 年 4 月以降)	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
<b>必要な資金の額</b>	<b>9,990</b>	<b>11,750</b>	<b>15,830</b>	<b>16,010</b>	<b>16,010</b>
地域経済動向調査費	280	450	450	450	450
平群町商工会	(50)	(100)	(100)	(100)	(100)
三郷町商工会	(50)	(100)	(100)	(100)	(100)
斑鳩町商工会	(150)	(200)	(200)	(200)	(200)
安堵町商工会	(30)	(50)	(50)	(50)	(50)
経営状況分析費	600	600	1,200	1,200	1,200
平群町商工会	(200)	(200)	(400)	(400)	(400)
三郷町商工会	(100)	(100)	(200)	(200)	(200)
斑鳩町商工会	(200)	(200)	(400)	(400)	(400)
安堵町商工会	(100)	(100)	(200)	(200)	(200)
事業計画					
策定・実施支援費	1,910	2,000	2,480	2,660	2,660
平群町商工会	(470)	(530)	(650)	(710)	(710)
三郷町商工会	(470)	(470)	(590)	(620)	(620)
斑鳩町商工会	(530)	(530)	(650)	(710)	(710)
安堵町商工会	(440)	(470)	(590)	(620)	(620)
需要動向調査費	500	500	750	750	750
平群町商工会	(100)	(100)	(150)	(150)	(150)
三郷町商工会	(100)	(100)	(150)	(150)	(150)
斑鳩町商工会	(200)	(200)	(300)	(300)	(300)
安堵町商工会	(100)	(100)	(150)	(150)	(150)
需要開拓支援事業費	500	500	750	750	750
平群町商工会	(100)	(100)	(150)	(150)	(150)
三郷町商工会	(100)	(100)	(150)	(150)	(150)
斑鳩町商工会	(200)	(200)	(300)	(300)	(300)
安堵町商工会	(100)	(100)	(150)	(150)	(150)
地域経済活性化					
事業費	6,200	7,700	10,200	10,200	10,200
平群町商工会	(1,400)	(1,900)	(2,400)	(2,400)	(2,400)
三郷町商工会	(1,400)	(1,900)	(2,400)	(2,400)	(2,400)
斑鳩町商工会	(2,000)	(2,000)	(3,000)	(3,000)	(3,000)
安堵町商工会	(1,400)	(1,900)	(2,400)	(2,400)	(2,400)

(備考) 必要な資金の額については、見込み額を記載すること。

## 調達方法

会費、国補助金、県補助金、市補助金、事業受託費、共済事業等手数料収入

(備考) 調達方法については、想定される調達方法を記載すること。

(別表4)

商工会及び商工会議所以外の者と連携して経営発達支援事業を実施する場合の連携に関する事項

連携する内容		
経営発達支援事業の内容における連携		
1. 地域の経済動向調査・・・調査結果の活用に係る連携		
2. 経営状況の分析・・・支援における専門家派遣及びセミナー開催に係る連携		
3. 事業計画策定支援・・・支援における専門家派遣及びセミナー開催に係る連携		
4. 事業計画策定後の実施支援・・・支援における専門家派遣に係る連携		
5. 需要動向調査・・・調査の共同実施、調査結果の活用に係る連携		
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する支援 ・・商談会等開催の情報連携、事業者へのフォローアップ連携		
地域経済の活性化に資する取組における連携		
7. 地域経済活性化に関する事業・・・観光プログラム開発、地域ブランド検討における連携		
連携者及びその役割		
連携者名	代表者役職・氏名	住所
	電話番号	連携内容(上記番号)
	役割	
奈良県商工会連合会	会長 中井神一	奈良市登大路町 38-1 中小企業会館 3 階
	0742-22-4411	2. 3. 4. 5. 6. 7
	商工会の運営指導、各事業専門家派遣による連携	
平群町	町長 岩崎万勉	生駒郡平群町吉新 1-1-1
	0745-45-1001	1. 5. 7
	経済動向調査、需要動向調査における協力、各種イベント協働	
三郷町	町長 森 宏範	生駒郡三郷町勢野西 1-1-1
	0745-73-2101	1. 5. 7
	経済動向調査、需要動向調査における協力、各種イベント協働	
斑鳩町	町長 小城利重	生駒郡斑鳩町法隆寺西 3-7-12
	0745-74-1001	1. 5. 7
	経済動向調査、需要動向調査における協力、各種イベント協働	
安堵町	町長 西本安博	生駒郡安堵町東安堵 958
	0743-57-1511	1. 5. 7
	経済動向調査、需要動向調査における協力、各種イベント協働	
奈良県	知事 荒井正吾	奈良市登大路町 30
	0742-22-1101	6
	各種補助金、助成金、物産展等の協力	
奈良県よろず連携拠点	代表者なし	奈良市柏木町 129-1
	0742-81-3840	2. 3. 4. 5
	各種セミナー、専門家派遣制度の活用、情報交換	
独立行政法人 中小企業基盤整備機構 近畿本部	本部長 中島 龍三郎	大阪府大阪市中央区安土町 2-3-13
	06-6264-8611	3. 4. 7
	各種セミナー、専門家派遣制度の活用、観光商談会開催、情報交換	
株式会社 日本政策金融公庫奈良支店	支店長 上村誠	奈良市大宮町 7-1-33
	0742-36-6700	3. 4
	各種融資制度の斡旋、情報交換	

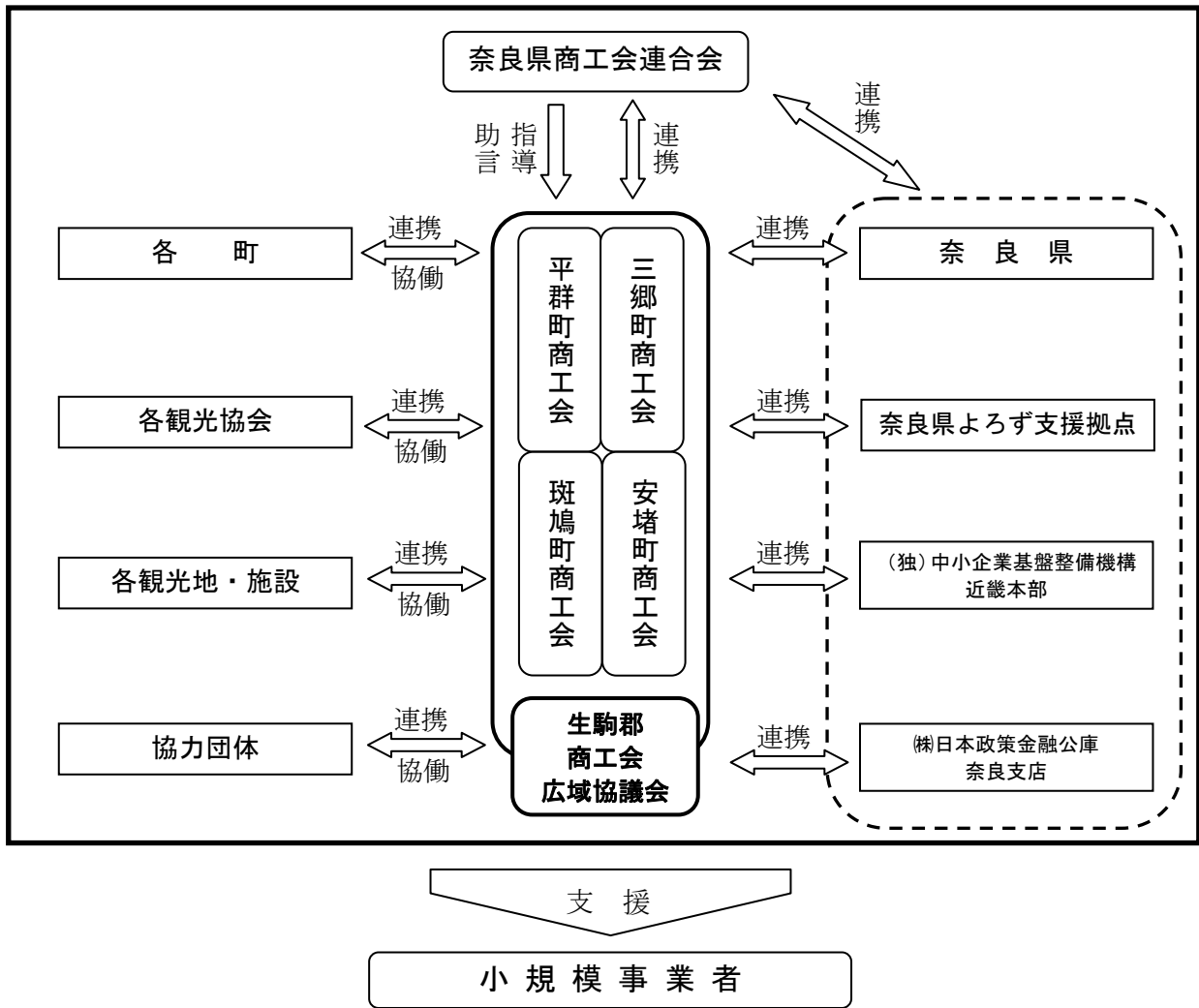


奈良県農業協同組合	代表理事理事長 榎田忠敬	奈良市大森町 57-3
	0742-27-4109	7
	平群町商工会における農産品を使った特産品開発の協力	
株式会社 関西総合研究所	代表取締役 池田恭和	大阪市中央区 1-1-10
	06-6945-5871	5
	需要動向調査の調査結果の分析、提言	
信貴山観光協会	理事長 田中眞瑞	生駒郡平群町信貴山 2280-1
	0745-44-9855	5. 7
	観光客動向調査の協力、観光ルート開発、特産品開発への協力、助言	
平群町 観光ボランティアガイドの会	会長 益田隆市	生駒郡平群町福貴 1037-2 あすのす平群
	0745-46-1120	5. 7
	観光客動向調査の協力、観光ルート開発、特産品開発への協力、助言	
公益財団法人 平群町地域振興センター (道の駅 大和路へぐり)	理事長 中島伊三郎	生駒郡平群町吉新 1-1-1
	0745-45-6550	5. 7
	観光客動向調査の協力、特産品開発への助言、イベント協力	
信貴山朝護孫子寺	管長 田中眞瑞	生駒郡平群町信貴山 2280
	0745-72-2277	5. 7
	観光客動向調査の協力、観光ルート開発への協力、助言	
三郷町観光協会	会長 奥田哲生	生駒郡三郷町勢野西 1-1-1 町建設経済課内
	0745-73-2101	5. 7
	観光客動向調査の協力、特産品開発への助言	
奈良学園大学	学長 梶田叡一	生駒郡三郷町立野北 3 丁目 12-1
	0745-73-7800	7
	三郷町商工会における産学官による特産品開発の連携協力	
龍田大社	宮司 上田安徳	生駒郡三郷町立野南 1-29-1
	0745-73-1138	5. 7
	観光客動向調査の協力、観光ルート開発への協力、助言	
斑鳩町観光協会	会長 小城 利重	生駒郡斑鳩町法隆寺 1-8-25
	0745-74-6800	5. 7
	観光客動向調査の協力、観光ルート開発、特産品開発への協力、助言	
斑鳩の里 観光ボランティアの会	会長 植村 功	生駒郡斑鳩町法隆寺 1-8-25
	0745-74-6800	5. 7
	観光客動向調査の協力、観光ルート開発、特産品開発への協力、助言	
斑鳩アイセス G C	会長 小川 勝	生駒郡斑鳩町法隆寺 1-8-25
	0745-74-6800	5. 7
	観光客動向調査の協力、観光ルート開発、特産品開発への協力、助言	
法隆寺	管長 大野 玄妙	生駒郡斑鳩町法隆寺山内 1-1
	0745-75-2555	5. 7
	観光客動向調査の協力、観光ルート開発への協力、助言	
吉田寺	住職 山中眞悦	生駒郡斑鳩町小吉田 1-1-23
	0745-74-2651	5. 7
	観光客動向調査の協力、観光ルート開発への協力、助言	
法輪寺	住職 井ノ上妙康	生駒郡斑鳩町三井 1570
	0745-75-2686	5. 7
	観光客動向調査の協力、観光ルート開発への協力、助言	

中宮寺	住職 日野西 光尊	生駒郡斑鳩町法隆寺北 1-1-2
	0745-75-2106	5. 7
	観光客動向調査の協力、観光ルート開発への協力、助言	
一般社団法人 未来づくり斑鳩	代表理事 井上雅仁	生駒郡斑鳩町龍田南 1-3-49
	0745-74-2500	6. 7
	斑鳩町商工会との特産品共同開発、各種物産展出展	
安堵町 観光ボランティアの会	会長 大西嘉子	生駒郡安堵町西安堵 699
	0743-57-3877	5. 7
	観光客動向調査の協力、観光ルート開発、特産品開発への協力、助言	
安堵町歴史民俗資料館	教育長 楮山素伸	生駒郡安堵町東安堵 1322
	0743-57-5090	5. 7
	観光客動向調査の協力、観光ルート開発への協力、助言	

連携体制図等

経営発達支援事業の内容における連携



地域経済の活性化に資する取組における連携

